

NVDAキーコマンド

Shift	読み上げを一時的に停止します。音声エンジンによっては、もう一度押すと停止した位置から読み上げを再開できるものもあります。	
Esc	自動的にフォーカスモードが有効になっていた場合、ブラウズモードに変更します。	
カンマ	キャレットがあるコンテナ要素(リストやテーブルなど)の直後の要素に移動します。	
Shift+カンマ	キャレットがあるコンテナ要素(リストやテーブルなど)の先頭に移動します。	
NVDA+1	「入力ヘルプモード」トグル	
NVDA+2	チェックされている場合、NVDAはキーボードから入力されたすべての文字を読み上げます。	
NVDA+3	チェックされている場合、NVDAは入力されたすべての単語を読み上げます。	
NVDA+4	チェックされている場合、NVDAは文字以外のキーの名称を読み上げます。このキーの名称には、Ctrlキーとその他のキーのようなキーの組み合わせも含まれます。	
NVDA+5	ターミナルやチャットプログラムの履歴など、特定のオブジェクトに対する新しいコンテンツの通知方法を切り替えます。	
NVDA+6	チェックされている場合、レビューカーソルは自動的にキャレットが移動した位置へ移動します。	
NVDA+7	チェックされている場合、フォーカス位置が移動したときに、レビューカーソルも現在フォーカスがあるオブジェクトに移動します。	
NVDA+スペース	ブラウズモードとフォーカスモードを切り替えます。	
NVDA+Ctrl+スペース	現在の埋め込みオブジェクトからフォーカスはずし、埋め込みオブジェクトを含んでいる元のページに移動します。	
NVDA+A	現在のキャレット位置から進みながら読み上げます。	
NVDA+Shift+A	レビューカーソルの現在位置から進みながら読み上げます。	
NVDA+B	現在アクティブなウィンドウ内のオブジェクトを読み上げます。(ダイアログの操作で便利です)	
NVDA+C	存在する場合、クリップボード内のテキストを通知します。	
NVDA+Alt+C	キャレット位置のテキストについてのコメントを通知します。	Word,Excel
NVDA+Ctrl+C	現在の設定を保存してNVDA終了後も設定が消えないようにします。	
NVDA+Shift+C	1回押すと現在の行を列見出しの行として設定します。この行の下で列を移動すると自動的にこの列見出しが通知されます。2回続けて押すと設定をクリアします。	Word,Excel
NVDA+D	現在の要素に詳細説明(longdesc属性)があれば、新しいウィンドウを開いて表示します。	
NVDA+F	レビューカーソル位置のテキストの書式情報を通知します。	
NVDA+Ctrl+F	入力した文字列を現在のドキュメント内で検索するためにダイアログを開きます。	
NVDA+L	現在キャレットのある行を読み上げます。	
NVDA+M	チェックされている場合、NVDAはスクリーン内での移動に伴ってマウスカーソルが重なったテキストを読み上げます。これにより、マウスを直接動かすか、オブジェクトナビゲーションを用いてスクリーン上にある物を探すことができます。	
NVDA+Shift+M	マウスカーソルを現在のナビゲーターオブジェクト及びレビューカーソルに移動します。	
NVDA+Alt+M	数式コンテンツの操作を開始します。	
NVDA+N	NVDA メニュー	
NVDA+Shift+N	ナビゲーターオブジェクトをマウスカーソル位置のオブジェクトに移動します。	

Ctrl+Alt+N	NVDA を起動	
NVDA+P	記号読み上げレベル変更	
NVDA+Q	NVDAを終了します。	
NVDA+Shift+R	1回押すと現在の列を行見出しの列として設定します。この列の右で行を移動すると自動的にこの行見出しが通知されます。2回続けて押すと設定をクリアします。	Word,Excel
NVDA+Ctrl+R	1回押すと前回保存された設定に戻します。3回押すと設定をリセットします。	
NVDA+S	読み上げモードを読み上げ、ビープ、オフの間で切り替えます。	
NVDA+Shift+S	現在選択されている任意のテキストを読み上げます。	
NVDA+T	現在アクティブなウィンドウのタイトルを通知します。2回押すとスペルを読み上げます。3回押すとクリップボードにコピーします。	
NVDA+U	このオプションはプログレスバーの更新をどのように通知するかを設定します。	
NVDA+V	このオプションでは、ブラウズモード内のコンテンツがリンクやその他のフィールドをそれぞれ独立した行として表示するか、画面に表示されているのと同じようにリンクなどをテキストどおりに表示するかを設定できます。チェックされている場合は画面に表示されているのと同じように表現し、チェックなしの場合はフィールドはそれぞれ個別の行として表現されます。	
NVDA+開き角カッコ	左マウスボタンをクリックします。一般的なダブルクリックはこのキーを素早く2回押すことで実行できます。	
NVDA+Ctrl+開き角カッコ	左マウスボタンをロックします。もう1回押すとロックを解除します。ドラッグするにはこのキーで左マウスボタンをロックし、マウスを移動するか、マウスカーソル移動用コマンドを実行します。	
NVDA+閉じ角カッコ	右マウスボタンをクリックします。	
NVDA+Ctrl+閉じ角カッコ	右マウスボタンをロックします。もう1回押すとロックを解除します。ドラッグするにはこのキーで右マウスボタンをロックし、マウスを移動するか、マウスカーソル移動用コマンドを実行します。	
ラップトップ配列:		
NVDA+左矢印	前の文字に移動	
NVDA+右矢印	次の文字に移動	
NVDA+上矢印	前の行に移動	
NVDA+下矢印	次の行に移動	
NVDA+ピリオド	現在の文字を読み上げ	
NVDA+Shift+ピリオド	現在の行を読み上げ、2回押すと現在行のスペルを読み上げます。	
NVDA+Tab	現在のフォーカス位置の項目の読み上げ。読み上げの中止は Ctrl キー、中断/再開は Shift キー	
NVDA+Tab	フォーカスのある現在のオブジェクトを通知します。2回押すとスペルを読み上げます。	
NVDA+Backspace	現在フォーカスのあるオブジェクトに移動し、もし表示されている場合はレビューカーソルをキャレット位置へ移動します	
NVDA+Shift+Backspace	1回押された場合はフォーカスを現在のナビゲーターオブジェクトに移動し、2回押された場合はキャレットをレビューカーソル位置に移動します。	
NVDA+Enter	現在のナビゲーターオブジェクトを実行します(フォーカスされている時にマウスでクリックしたり、スペースキーを押す動作と同等です) 汲キャレット位置へ移動します。	
NVDA+Delete	レビューカーソルのテキストやオブジェクトの位置を通知します。例えばドキュメント全体におけるパーセント表示、ページの端からの距離、画面の中の正確な座標などです。2回押すと詳細な情報を通知します。	
NVDA+Ctrl+Home	レビューカーソルをテキストの最上行に移動します。	
NVDA+Ctrl+End	レビューカーソルをテキストの最下行に移動します。	

NVDA+F2	次に押されるキーがNVDAのキーコマンドであっても、現在アクティブなアプリケーションに渡すようにNVDAに指示します。	
NVDA+F3	同じ検索文字列でドキュメントの後方に向かって検索します。	
NVDA+Shift+F3	同じ検索文字列でドキュメントの前方に向かって検索します。	
NVDA+F5	一部が欠落しているような場合に有効です。Microsoft Word および	
NVDA+F7	現在のドキュメント内の要素リストを種別ごとに表示します。	
NVDA+F9	レビューカーソルの現在位置からテキストをコピーします。実際のコピーはコピー終了位置を指定すまで行われません。	
NVDA+F10	レビューカーソルからコピーで指定したレビューカーソル位置から、現在レビューカーソルのある位置までをコピーします。このキーを押すと、テキストがWindowsクリップボードにコピーされます。	
NVDA+F12	1回押すと時刻を通知し、2回押すと日付を通知します。	

1文字ナビゲーション

以下のキーを単独で押すと次の要素に移動し、Shiftキーを押しながら押すと前の要素に移動します。

? H	見出し
? L	リスト
? I	リスト項目
? T	テーブル
? K	リンク
? N	リンクのないテキスト
? F	フォームフィールド
? U	未訪問リンク
? V	訪問済みリンク
? E	エディットフィールド
? B	ボタン
? X	チェックボックス
? C	コンボボックス
? R	ラジオボタン
? Q	引用
? S	区切り線
? M	フレーム
? G	画像
? D	ランドマーク
? O	埋め込みオブジェクト
? 1から6	レベル1から6のそれぞれの見出しに移動
? A	注釈(コメント、校閲者による更新など)

※ Insert キーや無変換キーは NVDA キーとして使われているときにも、すばやく2回押すと、本来の機能で使うことができる

※ 一般的なダイアログボックスは、Enterキーを押すと変更を保存して閉じる、Escキーを押すと変更をキャンセルして閉じる

※ チェックとチェックなしの状態を切り替えるにはスペースキー

Windows+D	デスクトップにフォーカス
Windows+B	通知領域にフォーカス
Windows+T	タスクバー(実行中のアプリケーション)にフォーカス